



医療法人社団 有相会

最成病院
Tel.043-258-1211グループホームかしわい
Tel.047-480-2165最成病院ヘルスケアセンター
Tel.043-257-8111最成病院 居宅介護支援室
Tel.047-480-2133ゆうあい訪問看護ステーション
Tel.047-480-2132千葉市あんしんケアセンター
にれの木台
Tel.043-445-8012介護老人保健施設 ゆうあい苑
Tel.047-480-2111

2019年1月発行

編集・発行 最成病院

☎043-258-1211

<http://www.saisei.or.jp>

Vol.37

新年のご挨拶



皆さまには新年を清々しく迎えられたこととお慶び申し上げます。

平成最後の年ですが、平成は皆さまにとってどのような時代だったでしょうか。日本にとっては戦争のない平和な時代でしたが、経済成長は鈍化し、ゆっくりと人口が減少し少子高齢化が押し寄せた時代でした。当院が開院したのが昭和61年(1986年)ですから、当院も平成とともに歩んできたといえます。

今、医療の世界では戦後生まれの団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、地域の実情に合わせた適切な医療を提供するため、医療圏ごとに地域医療構想が提言されています。千葉医療圏(千葉市)では急性期、回復期、慢性期の患者さんがそれぞれ何人ぐらい病院に入院する必要があるかを予測して、地域の病院が各々どのくらいの患者さんを受け持てばよいのかを検討しています。このような環境の中でも、最成病院はこれまで通り急性期(手術や緊急入院が必要な患者さん)、回復期(リハビリを必要とする患者さん)から慢性期(長期療養を必要とする患者さん)まで地域の方の医療を担ってまいります。皆さまにはこれからも住み慣れた地域で安心してお暮らし頂けるものと確信しております。

平成の次の新しい時代が皆様に幸運をもたらしますよう心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。
最成病院 院長 鈴木 孝雄

花見川消化器疾患セミナー2018が開催されました

平成30年12月4日、ホテル ザ・マンハッタンにて花見川消化器疾患セミナー2018が開催されました。

花見川・八千代地区を中心に、消化器疾患の医療連携を円滑に行うことを目的とした会で、今回で5回目の開催です。当日は地域の先生方を中心に総勢約50名もの方々にご参加いただきました。

一般演題は当院内科医長の伊藤浩子先生が「2型糖尿病の治療～肥満例を中心に～」を発表しました。

自院での症例を交えて糖尿病治療のメカニズムをわかりやすくご説明いただきました。



加藤直也先生



特別講演では千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学 教授 加藤直也先生に「慢性肝炎・肝硬変・肝がんのトータルマネジメント」をご講演いただきました。中でも肝がんの治療において肝臓の数値だけでなく血小板値や肝臓の硬さ(線維化)の程度が重要になるなど貴重な体験上のお話やAI活用による精密医療/オーダーメイド医療の時代が訪れること等、専門的な内容をわかりやすくお話されたことが印象的でした。講演後には懇親会も開催され盛会のうちに閉会となりました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



伊藤浩子先生



最成食卓便り



第6回となる「最成食卓便り」。

管理栄養士が「手軽にできる」「旬なものを使った」おいしい料理をレクチャーします。

今回は「サバ缶のヘルシーカレー」をご紹介します。今、テレビ等で話題の食材を使ったメニューです。ぜひご家庭でお試し下さい。

～サバ缶のヘルシーカレー～

管理栄養士 野島 智香子



【材料4人分】

- ☆サバ水煮缶 2缶
- ・ひよこ豆水煮 100g
- ・玉ねぎ 中2個
- ・しょうが 1片
- ・にんにく 1片
- ☆まいたけ 100g
- ・菜種油 大さじ2
- ☆トマト水煮缶 1缶
- ・カレールウ 2皿分
- ・カレー粉 少々
- ・塩、コショウ
- ☆話題の食材

<作り方>

1. 玉ねぎ、まいたけは1cm角に、しょうが、にんにくはみじん切りに刻む。
2. 鍋を火にかけ、菜種油としょうが、にんにくを入れサッと混ぜる。
3. 玉ねぎを加え炒める。
4. 玉ねぎから水分が出てきたら、まいたけを加え、さらに炒める。
5. トマト水煮缶を加える。空いた缶に水を少し入れ濯ぐようにしてトマトを残さず鍋に入れる。トマトを潰しながら煮込む。
6. サバ水煮缶を汁ごと加え、サバを少々ほぐす。(細かくし過ぎないように) ひよこ豆水煮も加える。
7. 上トマト水煮缶を加えることにより水気にとろみがつくので、カレールウは通常の半分量を加えて煮込む。
8. カレー粉で辛さを調節し、塩、コショウで味を整え出来上がり。

【大根ときゅうりの塩麹梅和えの作り方】

【材料】

- ・きゅうり 2本
- ・大根 5cm分
- ・塩 小さじ1/2
- ☆サラダチキン 50g
- ・梅干し 1ケ
- ☆塩麹 大さじ1強
- ・ゴマ油 大さじ1

<作り方>

1. きゅうりは縦半分に切ってから斜め薄切り、大根は7mm角の長方形に切る。
2. 梅干しは種を取り刻んでおく。サラダチキンはほぐしておく。
3. きゅうり、大根をボールに入れ、塩をまぶして15分程おく。水気が出てくるので折れないように軽く絞る。
4. 3.に塩麹、梅干し、サラダチキンをひと混ぜして出来上がり。

きずな直送便～入退院支援室編～

当院の入退院支援室は退院調整看護師3名、医療ソーシャルワーカー3名のスタッフで運営しております。

主な業務として予約入院となる患者さまが安心して入院生活を送れるよう、入院される前から専任の看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多分野の専門職が関わり、患者さまの診療を支援します。

事前に患者さまの状態を把握することで、入院に対する不安の解消を目指します。さらに病棟看護師とも連携をとり、患者さま一人ひとりにあった入院治療および看護が提供できるように努めていきます。

また退院後の生活や医療費に関する相談、かかりつけ医との連携、各種申請の手続きなどにも対応しています。



入退院支援室です。
入院前から退院後まで、患者さまが住み慣れた街で安心して療養できるようサポートいたします。

ゆうあい苑にて公開講座を開催しました。

最成病院公開講座として、平成30年11月14日(水)介護老人保健施設 ゆうあい苑にて地域の皆様を対象に『唾液ってこんなに大切！～ドライマウスを知って、お口も体も健康に～』を開催いたしました。

「ドライマウス」(口腔乾燥症)は、精神的なストレスや加齢による口の周りの筋力の低下等原因は多種多様です。唾液の分泌が減ると抗菌作用が低下し歯周病や虫歯の原因になる他、風邪にもかかり易くなるなど様々な病気の原因になります。

今回、ゆうあい苑言語聴覚士・理学療法士が講師となり、チェック表を使ってドライマウスかどうかの自己判定をしていただいた後、唾液の分泌を促進する、唾液腺マッサージ・口腔機能訓練・発声練習を全員で実践いたしました。特に発声練習では懐かしい童謡使うなど終始なごやかな雰囲気につつまれました。

ゆうあい苑では今後とも地域住民の皆様へお役にたつ情報を提供し続けてまいりたいと考えております。日頃介護・福祉のことでお困りの際は、ぜひご連絡下さい。

ゆうあい苑 ☎047-480-2111



理学療法士、言語聴覚士が講師です



口腔機能訓練の説明



発声練習の様子

外来医師担当表(2019年1月1日現在) 変更がある場合がございます。ご了承下さい。

曜日	時間	内科	外科・消化器科	整形外科	婦人科	循環器科	皮膚科
月	午前	西堀・岡田 内科 Dr	齋藤 古川	雅楽・眞鍋 佐藤(達)	田中 9:30~	大貫	
	午後	多田 福原	山口 乳腺外来(藤田)	雅楽・成嶋・ 佐藤(達)			
火	午前	多田 中島・富田	鈴木 眞田 10:00~	小川 久保田・馬場			深田
	午後	庭山・佐藤(貴) 伊藤・古口		小川/久保田(交代制) 馬場			青山
水	午前	多田・齋藤 川島・呼吸器	鈴木	雅楽・成嶋 百村		大貫	
	午後	西堀・木下 糖尿病(伊藤)※1		スポーツ診(桜庭)・高田・百村 ・※第2,4のみリウマチ診(雅楽)			
木	午前	西堀・新井 中津	鈴木 古川	小林・桜庭 河野・佐藤(博)	田中 9:30~		
	午後	川上 糖尿病(伊藤)		桜庭・佐藤(博) 第2,3,4,5 河野・脊椎/脊髄診(眞鍋)			
金	午前	佐藤(美) 阿部・太枝	藤田 齋藤	眞鍋 佐野・林	田中 9:30~	大貫	
	午後	亀井・西(慎) 糖尿病(伊藤)	藤田 眞田	佐野 林		宮路	
土	午前	河西 甲斐 西尾	加賀谷	・第1,3 高田・第2,4,5 小林・第 1,3,4,5 佐久間・第2 馬場・第1 吉 田・第2 百村・第3 幡野・第4 本 間・第5 整形 Dr	田中 9:30~	大貫	
	午後	第1,3,5 消化器 外来(丸山)・須永・ 中山		・第1,3,4,5 佐久間・第2 馬場 ・第1 吉田・第2 百村・第3 幡野・ 第4 本間・第5 整形 Dr			

※ 糖尿病・循環器外来は紹介状の持参、もしくは当院他科を受診してからの予約となります。
 ※ 女性医師は赤字で記載しております。 ※ 婦人科外来の診療時間は 9:30~12:00 となります。

ゆうあい伝言板

糖尿病友の会 花友会会員募集

花友会は糖尿病患者さんと、そのご家族、医師、看護師、栄養士、糖尿病療養指導士などのスタッフで作られている会です。皆さんと一緒に楽しみながら学べるイベントを計画して行きます。
 糖尿病は長期にわたって治療が必要な病気です。そのために正しい知識と療養を共にする仲間を得ることが力になると思います。
 会員は随時募集しております。皆さん、この機会にぜひご入会下さい。
 年会費は3,500円です。
 〈お問い合わせ〉花友会事務局
 ☎043-258-1211

糖尿病教室のお知らせ

毎月第4木曜日(13時~14時)に開催中。
 医師、看護師、栄養士などが、それぞれ専門の観点から「糖尿病」についてお話しいたします。
 予約不要、参加費無料で興味のある回だけ参加いただくこともできます。
 皆様のご参加を心よりお待ちしております。



編集後記

これから冬本番。手洗い、うがいでしっかり感染予防をしましょう(S)